



カミットくん

# あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

10.14 NO-26

## まかせる授業 体育科編！

本年度、本校の重点取組事項の一つに「まかせる授業の実施」があります。

「まかせる授業」とは、子どもたちの「気づき、つながり、解決していく力」を高めるための手立ての一つとして位置付けているもので、昨年度から全教職員で試行錯誤を重ねながら取り組んでいる授業スタイルです。

今回は、4年生の体育科で行われている授業について紹介します。

中学年の重要な学習の一つである「マット運動」です。マット運動では、回転感覚や体の操作能力を高めるとともに、自分の課題を見つけ、仲間と協力しながら解決していく力を育んでいます。この学習では、グループごとに協力しながら学習を進めます。子どもたちは6～7時間かけて、グループで行う集団演技（シンクロマット）を考え、練習を重ね、最終的に発表を行います。

### <グループ発表の条件>

○グループ全員が参加し、30秒間の集団演技を構成すること

○一人三つ以上の技を取り入れること

○BGMを使用すること

### <選択する場面>

○ 技 : 前転・開脚前転・後転・開脚後転・側方倒立回転・ロンダート

首はね起き・頭倒立・補助倒立・補助倒立ブリッジ等の中から選択

○BGM: 「世界に一つだけの花」「名探偵コナンのテーマ」「ピタゴラスイッチ」の中から選択



さまざまな技を、個人個人で練習しています。「今のはどうだった？」など、子どもたちの間でいろいろな会話があります。



タブレット端末で技を撮影して、振り返っている場面です。友だちも一緒に見ながらアドバイスしています。



先生に相談し、アドバイスをもらっている場面です。先生は、子どもたちの主体性を尊重し、サポート役に徹します。

今回の学習では、子どもたちが自分たちで技や音楽を選び、仲間と相談しながら一つの演技を創り上げています。思いどおりにいかないこともありますが、試行錯誤を重ねる中で、考える力や協力する力、最後までやり抜く力が育まれています。子どもたちの主体的な学びの姿が見られる学習となっています。